

国別WID情報整備調査

モロッコ

Morocco: Country WID Profile

平成10年11月

国際協力事業団

企画部

国別WID情報整備調査
(モロッコ国)

目次

| 略語表 | ページ |
|-------------------------------------|-----|
| 1. 基礎指標 | |
| 1-1 経済社会関連指標..... | 1 |
| 1-2 保健医療関連指標..... | 2 |
| 1-3 教育関連指標..... | 2 |
| 2. WID/ジェンダーに関する概要と政府の取り組み | |
| 2-1 モロッコの女性の概況..... | 3 |
| 2-2 WID/ジェンダーに関するモロッコ政府の取り組み..... | 4 |
| 2-3 ナショナル・マシーナリー..... | 4 |
| 3. 主要セクターにおけるWID/ジェンダー | |
| 3-1 教育分野..... | 5 |
| 3-2 保健医療分野..... | 6 |
| 3-3 農林水産業分野..... | 7 |
| 3-4 経済活動分野(鉱工業・手工業・サービス業等)..... | 8 |
| 4. 国際機関・その他の機関のWID/ジェンダー関連援助実績..... | 10 |
| 5. WID/ジェンダー情報リソース | |
| 5-1 関連機関、人材、NGOリスト..... | 13 |
| 5-2 報告書、資料リスト..... | 15 |
| 6. 参考文献..... | 17 |
| 7. 用語・指標説明..... | 18 |

略語表
(モロッコ共和国)

| | | |
|----------|---|------------------------------|
| ADFM | Association Democratique des Femmes du Maroc | モロッコ女性民主化協会 |
| BCG | Bacille Bille de Calmette et Guerin | 結核予防ワクチン |
| CIDA | Canadian International Development Agency | カナダ国際開発庁 |
| DPT | Diftheria, Pertussis, and Tetanus | 三種混合ワクチン (ジフテリア、百日ぜき、破傷風) |
| FAO | Food and Agricultural Organization,UN | 国連食糧農業機関 |
| GDP | Gross Domestic Product | 国内総生産 |
| GNP | Gross National Product | 国民総生産 |
| GTZ | German Agency for Technical Cooperation | ドイツ技術協力公社 |
| HIV/AIDS | Human Immunodeficiency Virus / Acquired Immuno-Deficiency Syndrome | ヒト免疫不全ウイルス / 後天性免疫不全症候群 |
| ILO | International Labor Organization | 国際労働機関 |
| NGO | Non-Governmental Organization | 非政府組織 |
| STD | Sexually Transmitted Diseases | 性感染症 |
| UE | University of Egypt | エジプト大学 |
| USAID | United States Agency of International Development | アメリカ合衆国国際開発庁 |
| UNDP | United Nations Development Program | 国連開発計画 |
| UNESCO | United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization | 国連教育科学文化機関 |
| UNICEF | United Nations Children's Fund | 国連児童基金 |
| UNFPA | United Nations Population Fund | 国連人口基金 |
| WID | Women in Development | 開発と女性 |

1. 基礎指標

1-1 経済社会関連指標

| 経済社会指標 | | | | | | 出典 |
|---------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------|--------------|----|
| 経済指標 (1995年) | GNP/Capita \$1,110 | 実質GDP成長率 0.9%(97年) | | インフレ率* | ジニ係数* | 1) |
| 政府公共(91-95年) 各セクター支出内訳 | 保健 3.0% | 教育 17.8% | 社会保障福祉 5.8% | 防衛 14.3% | その他 58.8% | 1) |
| 人口(1996年中間値) | 総人口 2750万人 | 都市人口比率/全人口 52% | | 人口増加率(90-95年平均) 2.1% | | 2) |
| | 女性比率 1370万人 | | | | | |
| 産業比率/対GDP比 | 農業 14% | 工業 33% | サービス業 53% | 工業分野に占める製造業 19.0% | | 1) |
| 労働人口比率(90年) | 農業 45% | 工業 25% | サービス業 25% | 援助/GNP 2.2% | | 1) |
| | 女性比率 35% | NA | NA | | | |
| 労働関連指標 | 総労働人口 100万人 | 失業率(96年) 18.1% | 最低賃金 NA | 女性所得/全所得* | | 3) |
| | 女性 35% | 23.6% | NA | NA | | |
| 意思決定参加率 | 女性比率/全体 | | 女性比率/全体(1991年) | | | |
| | 国会議員 0.6% | | | 管理職 25.6% | | 3) |
| | 大臣(1995年) 0% | | | 専門技術職 31.3% | | 3) |
| | 副大臣(1995年) 2% | | | | | 3) |
| 女性関連法律 | | 制定年度 | 内容 | | | |
| | 個人の地位法 | 制定予定 | 記述なし | | | 2) |
| | 国籍法 | 制定予定 | 同上 | | | 2) |
| | 刑法 | 制定予定 | 同上 | | | 2) |
| 女性に関する国際条約批准・署名の有無 | | | 批准 | 批准年度 | | |
| | 女子に対する差別撤廃条約 | | 済 | 1993年 | | 2) |
| WID関連政策 | | 制定年度 | 内容 | | | |
| | 国家行動計画 | 1998年11月 | リプロダクティブ・ヘルス、女性の経済参加、 | | | 2) |
| | | 採択予定 | 女性の法的、社会・政治的参加の強化 | | | |
| WID関連国家組織 | | | | | | |
| | ナショナルマシーナリー名 | 社会保障・家族・児童担当省 | | | 2) | |
| | 国家組織の位置付け | 社会問題省内 | | | | |

出典

- 1) World Bank, World Development Report 1997, 1997
- 2) Kestrels Advisory Corps, Country Profile Study on Women in Development, 1998
- 3) UNDP, Human Development Report 1997, 1997

注) *についてはp. 18の7. 用語・指標説明を参照

1-2 保健医療関連指標

| 保健医療関連指標 | | | | | | 出典 | |
|--------------------------|-------------------|----------|--------------|-------------------|--------------|-------|----|
| 平均余命(1996年) | 全体 65.3才 | 男性 66.9才 | 女性 63.6才 | 人口増加率2.3%(90-95年) | | 1) | |
| 保健医療普及 | 人口/医師一人 | | 2500人 | 人口/看護婦(士)・助産婦一人 | | 1000人 | 2) |
| 保健医療に係る政府支出(対GDP比91-95年) | 17.5% | | | | | 1) | |
| 一才未満乳児死亡率*(出生千対) | 低体重児率* | | 予防接種実施率 | | (90-95年) | 一才児 | |
| 全体 | 64人(1996年) | | 9%(90-94年) | BCG | 96% | | 1) |
| 女兒 | NA | | NA | DPT | 95% | | 1) |
| 五才未満幼児死亡率*(出生千対) | | | 経口ポリオ | | 95% | | 1) |
| 全体 | 53人(1996年) | | 麻疹 | | 93% | | 1) |
| 出産間隔・家族計画 | 家族計画実行率(90-97年) | | 50% | 合計特殊出生率*(1993年) | | 3.3人 | 1) |
| 出産介助率* | 59% | | 初婚年齢(女性) | | 24.2才 | | 1) |
| 妊産婦貧血率* | NA | | | | | | |
| 妊産婦死亡率 | 10万人あたり610人 | | | | | 1) | |
| 栄養状況 | | | | 経口補水療法使用率* | 29% | | 1) |
| ヨウ素欠乏症 | ヨウ素添加塩を使用している世帯NA | | 栄養失調(90-96年) | | 10% 五才未満児 | | 1) |
| 地域医療(1990-96年) | | | | | | | |
| 安全な水普及率 | 都市98% 農村 34% | | 衛生施設普及率 | | 都市 94% 農村24% | | 1) |
| HIV/AIDS | HIV感染者 | | AIDS死者数 | 原因 | | | 2) |
| 統計(1995年) | 10万人あたり0.2人 | | NA | NA | | | |

1-3 教育関連指標

| 教育関連指標 | | | | | | 出典 |
|----------------|---------------|-----|--------------|---------------|------|------|
| 教育制度 | 義務教育6年、初等教育6年 | | | | | 4) |
| 公共支出に占める教育支出 | 22.6%(1995年) | | | | | |
| 対GNP比(1995) | 5.6% | | | | | 1) |
| 成人識字率(1995年) | 全体43.7% | | | | | 4) |
| 女性 | 31% | | | | | 4) |
| 初等教育(1993-97年) | 純就学率 | 終了率 | ドロップアウト率(昼間) | | (夜間) | |
| 男子 | 80% | NA | 4.9% | | NA | 2)4) |
| 女子 | 62% | NA | NA | | NA | 2) |
| 中等教育(1993年) | 就学率 | 終了率 | ドロップアウト率(昼間) | | (夜間) | |
| 男子 | 43% | NA | NA | | NA | 4) |
| 女子 | 32% | NA | NA | | NA | 4) |
| 高等教育(1993年) | 就学率 | | | 技術教育・高等教育専門分野 | | |
| 全体 | NA | | | 女子比率 | | NA |
| 女性比率 | NA | | | | | |

出典

- 1) UNICEF, The State of the World's Children, 1998
- 2) Kestrels Advisory Corps, Country Profile Study on Women in Development, 1998
- 3) 国際協力推進協会、モロッコの経済社会の現状、開発途上国別経済協力シリーズ、1995
- 4) UNESCO, World Education Report 1998, 1998

注) *についてはp. 18の7. 用語・指標説明を参照

2. WID/ジェンダーに関する概要と政府の取り組み

2-1 モロッコの女性の概況

モロッコの女性の概況

-成人非識字率が近隣のアラブ諸国よりも高く、女子成人識字率(31%)は男性(56.4%)よりもかなり低い。教育レベルの男女間格差はかなり大きく(1995)、農村部と都市部との地域間格差も著しい。
-妊産婦死亡の具体的な対策はなく、1990年に10万人に610人と近隣アラブ諸国と比較して高い。
-労働人口に占める女性比率は35%であり、最近女性の職業進出は増加している一方で、農村部と都市部での女性の労働参加率に格差がある。
-特に農村部の女性はインフォーマルセクターに従事する 경우가多く、全体の95.7%が女性である。

モロッコはアフリカ大陸の北西部に位置し、マグリブ3国(モロッコ、チュニジア、アルジェリア)の最西端にある王国である。1956年3月、統治国であったフランスとスペインから独立した。1961年にハッサン2世が国王となり、国民投票で採択された憲法を公布し、立憲君主国家が誕生した。現在に至るまで国王の地位にあるハッサン2世は、イスラム教・スンニ派の最高指導者であり、政教両分野での最高の権威である。したがって、イスラム原理主義者の影響力は他のマグリブ諸国におけるよりもはるかに弱い(国際協力推進協会、1995)。国王ハッサン2世は西欧型民主主義を取り入れ、90年代に入ってから「変化と刷新(Change and Renewal)」のスローガンを掲げ、1998年の憲法改正や新選挙を実施、さらに初の野党からの首相の誕生を導いている(EIU, 1998)。

1995年の一人あたりのGNPは1110米ドルであり、世銀の分類では低位中所得国に位置付けられる(World Bank, 1997)。アラブ世界では、エジプト、アルジェリア等と並ぶ潜在的に豊かな国内市場、世界の埋蔵量の約75%を占めるリン鉱石など地下資源や水産資源に恵まれており、経済開発の可能性は大きい(国際協力事業団、1997)。しかし、1993年以来経済は停滞し、近隣諸国と比較して経済成長の割合は遅く、1995年、政府は経済再建を目的とした世銀による中期財政戦略を受け入れた。97年の実質GDP成長率は0.9%。この成長率はいまだに農業に大きく依存しており、労働力の45%は農業に従事している。主要産業であるサービス業はGDPの53%を占め、労働人口の25%がこれに従事している。特に観光業は外貨獲得に貢献している(World Bank, 1997)。失業率は慢性的に高く、1996年には18.1%であった(EIU, 1998)。

成人非識字率は近隣のアラブ諸国よりも高い。1995年の女性成人識字率(31%)は男性(56.4%)よりも低く、教育レベルの男女間格差はかなり大きい(UNESCO, 1998)。初等・中等・高等教育の全教育レベルにおいてもこの傾向は見られ、男女間格差は著しい。また、男女間の格差に加えて、地域間格差も大きい。1992年の初等教育前期(8-13才)の農村部での就学率は女子26.6%、男子59.6%であったのに対し、都市部は女子80.4%、男子87.5%であった(UNESCO, 1998)。政府は1982-1995年に平均して4%の予算を保健医療に配分しており、国民の健康状態に改善が見られる。乳児死亡率は1000人当たり1970年の128人から1996年の53人と低下している(UNICEF, 1998)。しかし、妊産婦死亡についての具体的な対策は講じられておらず、その割合は10万人に610人と他国と比較して高い(UNICEF, 1998)。

労働人口に占める女性比率は35%で(UNDP, 1997)、最近女性の職業進出は増加している。しかし、地域による雇用人口に格差があり、1994年に都市部で17.3%、農村部で9.3%であった(Kestrel, 1998)。生産活動で女性が果たす役割が大きいため、政府は、対象を女性に絞った農業普及サービスを実施するなど、女性の生産活動を支援する取り組みを行っている。一方で、特に農村部の女性はインフォーマルセクターに従事する 경우가多く、全体の95.7%が女性であった(Kestrel, 1998)。この場合、多くの女性が繊維工場などと内職の契約を結び、最低賃金以下の収入しか得ておらず、生活条件は厳しい。また、この農村部の女性は職を求めて都市部に移住する傾向にあり、急激な都市化はモロッコの特徴となっている。

文化的には、人口の3分の1はベルベル人とみられているが、多くのモロッコ人はアラブ語とベルベル語をともに話すので、誰がベルベル人であるかを見分けるのは困難である。このベルベル人は伝統的に山岳地帯に多く住んでいる。国民の99.95%は国教であるイスラム教・スンニ派の信者である(国際協力推進協会、1995)。

2-2 WID/ジェンダーに関するモロッコ政府の取り組み

モロッコ政府の取り組み

-モロッコ政府は、1993年、女性差別撤廃条約を批准した。
-特に1990年代以降、モロッコ政府は、不利な立場に置かれている女性の現状に法的にも配慮し、憲法を改正（1992年）するなど積極的に女性問題に取り組んでいる。
-国家行動開発計画は、女性の問題を包括的に扱った最初の政策であり、主に1)リプロダクティブ・ヘルス、2)経済開発における女性の参加、3)女性の法的、経済、社会、政治的な統合を強化することなどを目的としている。

【国家政策】

モロッコ政府は、女性問題に配慮するために公的な介入を実施し、それに伴う政府組織の再編成を行うために下記の通り、社会保障・家族・児童担当省を設立した。この国家機関は、開発と女性に関する「国家行動計画（National Action Plan）」をNGOと協調して作成しており、1998年11月に政府に提出する予定である(Kestrel, 1998)。これは、1)リプロダクティブ・ヘルス、2)経済開発における女性の参加、3)女性の法的、経済社会政治的な統合を強化することを目的としている(Kestrel, 1998)。

特に農村部の女性の状況を向上させるための政府の行動はまだ不十分であり、WIDの政策の計画・実施に関するすべての段階でNGOや市民社会と連携することが必要である(Kestrel, 1998)。

2-3 ナショナル・マシーナリー

社会保障・家族・児童担当省 (State Secretary of Welfare's Family and Child Affairs)

-福祉と家族、子供に関する国家委員会が設置され、国家行動計画に基づいて活動を行っている。また、政府内に新しい組織を設置するための法律を準備中である。

【設立背景】

1998年まで、社会問題省(Ministry of Social Affairs)、青少年スポーツ省(Ministry of Youth and Sport)、法務省(Ministry of Justice)、人権省(Ministry of Human Rights)、教育省(Ministry of Education)などの各省と政府関連機関が担当分野で個別に対応し、分散していた。1998年5月、新政府発足後間もなく、家族と子供の福祉に係わる分野を担当する社会保障・家族・児童担当省を設立した。WIDについて一元的に対応する省として、社会問題省の中に位置づけられる。しかしながら、現状ではまだナショナル・マシーナリーとしての機能をしておらず、本来の機能を果たすにはまだ時間がかかるものと思われる(Kestrel, 1998)。

【WID/ジェンダー関連政府機関】

モロッコ政府は最近、ジェンダーの状況を把握し、不利な立場の女性の生活を改善するために、女性に関する政策の策定やプロジェクトの実施などを行ってきた。社会保障・家族・児童担当省を設立することにより、政治・経済・社会各分野への女性の参加を促進している(Kestrel, 1998)。

3. 主要セクターにおける WID/ジェンダー

3-1 教育分野

教育分野の概況

-成人非識字率が近隣のアラブ諸国よりも高い。1995 年の女性の識字率(31%)は男性(56.4%)よりも低く、教育レベルの男女間格差は大きい。
 -初等教育・中等教育レベルでの就学率は都市部・農村部の地域間、男女間で著しい格差があり、特に農村部における女子の教育機会は不足している。
 -1993-94 年における全体の大学進学率は 8%、女子の割合は 42.7%であり年々継続的に増加している。

【教育政策と WID に関する予算】

国民教育省は、教育政策に関する唯一の担当省庁であるが、1995 年 2 月以来、高等教育に関しては新しい省に移譲された。教育関連の 1998 年現在の省組織は 1) 国民教育省：初等、中等教育担当、2) 高等教育・幹部養成・科学研究所省の 2 つとなっている(JICA モロッコ事務所, 1998)。

政府は国家予算の 20%、GDP の 4.88%を教育に配分し、この 91%は国民教育省に配分され、このうち 56%は初等教育に使われる。しかし構造調整プログラムによる公共支出の引き締めは、特に貧困層から教育の機会を奪っている。また、現行の教育システムでは、開発と女性に関する特別なカリキュラムがないが、すべての教育プロジェクトに配慮されるように計画されている(Kestrel, 1998)。

【識字教育】

1995 年の成人識字率は女性 31%、男性 56.4%と男女間格差が大きい(UNESCO, 1998)。地域格差が著しく、都市部で 2 人のうち 1 人が非識字者であるのに対して、農村部の 10 人のうち 9 人が非識字者である(ADFM, 1998)。モロッコ政府は識字率の増加に努めており、その結果、成人識字率は 1960 年の 10%から 1995 年の 43.7%まで増加した(UNESCO, 1998)。最近、政府は国際機関と連携して、農村部・都市部で成人教育のプログラムを実施している(Kestrel, 1998)。

【初等・中等・高等学校教育】

1980 年以来、初等教育の最初の 4 年間はアラビア語で行われており、後の 2 年間はアラビア語とフランス語で行われている。教育政策は、教育の一般化、統一、アラブ語の使用、地方での教育の促進などを基本としている。一方で、初等教育・中等教育レベルでの就学率は都市部・農村部の地域間と男女間で著しい格差があり、下記の通り、特に農村部における女子の教育機会は不足している。

この理由として下記の点が挙げられる。1) 学校まで 7 キロ以上離れている場合、2) 学校までの交通手段の不足、3) 校舎の基本的インフラの不足(校舎のわずか 9%が電気、26%が水、また 7%がトイレを使用可能)、4) 教育カリキュラムの不整備、5) プログラムの構成と内容、6) 女子学生が家内労働に従事することを好まれる社会経済的状況、7) 農村部における女性の厳しい生活状況などである(Kestrel, 1998)。

初等・中等教育における男女・地域別就学率 (単位：%)

| | 農村部 | | 都市部 | |
|-------------------|------|------|------|------|
| | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 |
| 初等教育の前期 (8-13 才) | 26.6 | 59.6 | 80.4 | 87.5 |
| 初等教育の後期 (13-15 才) | 4.5 | 15.7 | 69.3 | 91.5 |
| 中等教育 (16-18 才) | 0.9 | 2.1 | 48.2 | 65.9 |

(出典：Jarousse and Mingat, 1992、ADFM, Parallel Report of Moroccan NGOs on the Application of the Convention on Eliminating all Forms of Discrimination against Women, 1998 より引用)

【大学教育】

1993-94 年における全体の大学進学率は 8%であり、23 万 4966 人であった。その中で女子の割合は 42.7%であり、この割合は年々継続的に増加している(Valentine, 1998)。

保健医療分野の概況

-政府はリプロダクティブ・ヘルスに関するプログラムを実施している。
 -妊産婦死亡率は10万人に610人と近隣アラブ諸国に比べて高い割合である。国家戦略の中に「危険にさらされない母体」のための課題を明示し、妊産婦死亡率を25%まで減少することを目的としている。
 -避妊実行率は1979-80年の19%から1994-97年の58.5%(都市部65.8%、農村部50.7%)に増加した。

【政策とリプロダクティブ・ヘルス】

政府は継続して保健医療インフラの整備への投資とそれに伴うプログラムを実施している。政府は1982-1995年に平均して4%の予算を保健分野に配分しており、これは社会保険、世帯の保健に対する支出、その他の支出からなっている(Kestrel, 1998)。政府の統計によると、医師一人あたりの人口は2500人、看護婦一人あたりの人口は1000人となっている(Kestrel, 1998)。1980年代初めより実施されている構造調整プログラムにより、政府予算に占める保健予算は減少する傾向にあり、これによる貧困層への悪影響が懸念されている(Kestrel, 1998)。

政府によるリプロダクティブ・ヘルスに関する特別なプログラムは) 国家家族計画プログラム(National Family Planning Programme) : 1965年4月以来、ハッサン2世国王が主導、2) 母子保健のための国家プログラム(National Programme for Maternal and Infantile Health)、3) HIV/STDに対する国家プログラム(National Programme to Struggle against HIV/STD Infection)、である。リプロダクティブ・ヘルスの概念はまだ十分に取り入れられていないが、これらは主に、世銀、国連開発計画などの国際機関と協調して取り組んでいる(Kestrel, 1998)。

【母子保健/栄養】

政府は乳児死亡率の減少を強化する一方で、妊産婦死亡に関しての対策を講じてこなかった。その結果、妊産婦死亡率は10万人に610人と近隣アラブ諸国に比べて高い割合である(UNICEF, 1998)。しかし、最近の国家戦略の中に危険にさらされない母体(Maternity without Risk)への対策が盛り込まれており、妊産婦死亡率を25%まで減少することを目的としている。これは、1) 女性主体の避妊の強化、2) 医療インフラの強化、3) 妊娠を管理する人的資源の向上、である。栄養失調は母体の疾病や乳児の死亡の主な原因であり、ジフテリア、ヨウ素欠乏症、貧血症のような病気も見られる。免疫プログラム(Immunization National Programme)を通して予防注射による予防を行っており、予防接種率は全体の85%を占める(Kestrel, 1998)。

【HIV/AIDS/STD】

現在のところHIV感染者は多くないが、これに関連する国家計画(National Programme to Struggle against STD-HIV 1996-2001)がある。しかし、社会・宗教的な要因から正確な数値を把握するのは困難である。全体のHIV感染者数は1986-1997年に646人であり、そのうち男性は327人、女性は137人であった。この割合は年々増加しており、特に1992年以降女性の感染者数は急増している(Epidemiology Direction, Service of STD/HIV, Health Ministry, 1997、Kestrel, 1998より引用)。

【家族計画】

避妊実行率は、1979-1980年の19%から1994-1997年の58.5%(都市部で65.8%、農村部で50.7%)に増加した。避妊方法は、主に経口避妊薬を使用している場合が70%と多く、これは避妊に関する知識や世帯の収入によって異なる。1965年、ハッサン2世国王が率先して家族計画プログラムを実施して以来、政府により、以下のような多くの取り組みがなされた。1) 1965-1979年：産児制限を実施したが、ほとんど良い結果をもたらさなかった、2) 1979-1992年：サービスの改善、出産に関する研修と研究のための国家研究機関設立や家庭訪問により1992年に避妊率は42%まで増加した。3) 1993年：ノーブランドサービスの実施、家族計画週間の実施がなされた、4) 注射の導入、また家族計画局の設立、である(Kestrel, 1998)。

農林水産業分野の概況

-1980 年以来農業省は、農村部における女性のための社会・経済室を設置し、農村女性に対する配慮を行い、プログラムを実施してきた。
 -1984 年に設置された農村女性の社会・経済促進室は、中央農業普及サービスを実施した。40ヶ所の地域事務所は直接中央事務所に所属しており、143 人の普及員がいる。
 -土地所有に関して男女同等の権利を与えているが、実際には女性が土地を継承することはまれである。
 -農村女性を支援するための小規模企業経営に関する法律はないが、法律の制定準備にあたっている。

【政策と予算】

1980 年以来農業省は、農村部における女性のための社会・経済室を設置し、農村女性に対する配慮を行い、プログラムを実施してきた。開発戦略への女性の参加は農業や林業分野における重要事項となった。1) 計画時における女性の参加、2) プログラムの認識に対しての農村女性の連帯などである。しかし、農業省の予算には女性に関する特別なものはなく、一般予算の中に含まれている。しかし、農村部の女性開発戦略プロジェクト(Project of Women's Development Strategies in Rural Area)は、特に農村女性に焦点をあてた独立した計画である(Kestrel, 1998)。

【農村部での普及活動】

1984 年に設置された農村女性の社会・経済促進室は、中央農業普及サービス(Central Agriculture Vulgarisation Services)を実施した。地域事務所は直接中央事務所に所属している。実際、Regional Cell for Feminine Animation(RCFA)と呼ばれる 40ヶ所の地域事務所があり、143 人の普及員がいる。この主な目的は、開発の過程に農村女性が参加することであり、具体的には、1) 農村女性の監督(地方へのプログラムの普及、女性と農作業を通しての活動)2) 農村女性の組織の設立、3) 小規模金融の導入のための研修支援である。農業活動の促進に加えて、RCFA は保健、栄養、衛生、天然資源の保全、女子の識字などの多くの業務を行っている(Kestrel, 1998)。

【土地所有】

法的には、土地所有に関して男女同等の権利を与えているが、実際には、女性が土地を継承することはまれである。イスラム教でも、男女は同等の権利と義務を持っているとしているが、男性は女性の 2 倍の土地の継承を受けるのが普通とされている。しかし、農村では一般的に、土地の継承は家族の最年長の男性が受け、女性には例外を除いて全くなされない(ADFM, 1998)。

【小規模企業経営の訓練に対する支援】

この分野に関する法律はないが、政府の諮問委員会では法律の制定準備にあたっている。180 万の人が絶対的貧困¹以下であり、この 4 分の 3 が農村地域に住んでいる。したがって、小規模融資のような財政的な支援なく、教育・保健医療プロジェクトの促進を図ることは難しい。国際機関や国の NGO はこの分野での協力を実施しており、また Caisse Nationale de Credit Agricole (CNCA)および農業銀行(Agriculture Bank)は、3000 人の農村女性に小規模融資を行っている(Kestrel, 1998)。

【農村女性の状況】

モロッコの貧困層は 250 万人とされ、そのうち農村部の割合は 72%である(Kestrel, 1998)。その半数以上が絶対的貧困以下で生活しており、その中でも女性が世帯主である家族は最貧困層にある。モロッコの農村女性の多くは無償労働をしている一方で、男性は小規模もしくは商業農業を営んでおり、その 25%は賃金労働である(Valentine, 1998)。しかし、農村部において女性は男性より活動的である。女性は牧草地での仕事に一日平均 6 時間以上、水汲みに一日 2 時間以上費やす(ADFM, 1998)。

¹ 世界銀行の「世界開発報告 1990」は年収 370米ドル以下の人々を絶対的貧困層と見なしている(国際協力事業団、1994)

3-4 経済活動分野(鉱工業・手工業・サービス業等)

経済活動分野の概況

-女性の職業進出は増加傾向にあり、女性が従事する職業分野も多くの分野に広がってきている。経済開発政策によって、女性はモロッコの主な輸出産業である農業分野や軽工業分野にも従事するようになった。
 -農村地域で賃金収入がある女性は、全体の農村人口のわずか1.5%であり、半分は農業ではなく、公共サービスや民間のサービスに従事している。農業に従事している女性の84%以上が現金収入を得ていない。
 -インフォーマルセクター従事者の95.7%が女性であり、多くは最低賃金以下の収入を得ている。

【雇用状況】

女性の職業進出は増加傾向にあり、この理由として、1)女性の教育水準の上昇、2)男女平等の促進政策や女性運動、3)経済構造の転換、4)製造業に重点を置く輸出政策などが考えられる(The 1991 Living Standards Measurement Survey for Morocco, Valentine, 1998より引用)。女性が従事する職業も多くの分野に広がってきている。経済開発政策によって、女性はモロッコの主な輸出産業である農業分野や軽工業分野にも従事するようになった。この女性による低賃金労働のおかげでモロッコの輸出産業は厳しい国際競争にもかかわらず、繊維や革工業で成功を収めている。女性の労働力はこの分野で90%以上を占めており、輸出収入源として重要である(Kestrel, 1998)。

地域別・男女別雇用人口の変化1982-1994年(単位:%)

| 年 | 男性 | | 女性 | | 男女 | |
|-----|------|------|------|------|------|------|
| | 1982 | 1994 | 1982 | 1994 | 1982 | 1994 |
| 都市部 | 46.5 | 51.7 | 14.7 | 17.3 | 30.4 | 34.2 |
| 農村部 | 48.9 | 51.2 | 9.3 | 9.3 | 29.0 | 30.1 |
| 合計 | 47.9 | 51.5 | 11.6 | 13.4 | 29.6 | 32.2 |

(出典: ADFM, Parallel Report of Moroccan NGOs on the Application of the Convention on Eliminating all Forms of Discrimination against Women, 1998)

【就労の職種】

モロッコの女性は他の近隣アラブ諸国と比較して、女性の職業進出が進んでおり、特に輸出向きの製造業(縫製、皮製品など)への参加が高いのが特徴である。1982年に製造業に従事する労働者の36%、33万6877人が女性であったが、1991年には37.4%、114万3033人と増加している。これらの女性のほとんどが生産労働者である(Valentine, 1998)。

【雇用労働】

女性に関する労働法の内容には以下の事項が含まれている。1)女性の深夜労働(22:00 pm~5:00am)および特別な許可なく16才以下の子供を働かせることが禁止されている。2)鉱業などの重労働に女性に従事させることが禁止されている。3)職場において女性や子供に重労働を課すことが禁止されている。4)妊産婦を保護する(出産休暇を15週間以上)、5)授乳休養を与える(午前と午後30分間ずつ)、この法的な規定にもかかわらず、女性の労働条件は厳しく、多くの場合女性は低賃金であり、場合によっては一日に10時間以上働く。また、20%の女性は世帯主であり、家計を支えている(Kestrel, 1998)。

【農村女性の労働状況】

農村部で賃金収入がある女性は、全体の農村人口のわずか1.5%であり、半分は農業ではなく、公共サービスや民間のサービスに従事している(Valentine, 1998)。農業に従事している女性の84%以上が現金収入を得ていない。この97%は非識字者であり、0.2%しか初等教育を受けていない(Valentine, 1998)。農村部で働く女性の5分の1が15才以下である(Valentine, 1998)。これらの女性は社会保障制度に入ることも

なく労働活動を行っている。

【インフォーマルセクター】

これに関する信頼性の高い情報はないが、1993年の統計(Annual Statistics of Morocco, Department of Statistics, Morocco, 1995、ADFMより引用)によると、18万7211人がインフォーマルセクターに従事しており、そのうち95.7%が女性であった。多くの場合、これらの女性は繊維工場(衣服、靴下、絨毯など)と内職の契約を結び、最低賃金以下の収入を得ている。これは一時間あたり約1ドル以下であり、社会保障制度に加盟していない(ADFM, 1998)。近年、都市部でのインフォーマルセクターは拡大する傾向にあり、その中で女性は小規模自営業、無償の家族労働、家事労働などに従事している。1986-1990年の間にモロッコの都市部で新たに創出された職業のうち、70%は敷物織り、工芸品の生産、食品加工のようなインフォーマルセクターに属すると考えられる(World Bank, 1994, Valentine, 1998より引用)。この理由は、ダウリーのための貯蓄や家族の季節収入などを補足するためとされている(Valentine, 1998)。

【職業訓練】

17.6%の農村女性が職業訓練所で研修を受けているが、取得した資格や市場に適した技術を持っているにもかかわらず、これらの女性が農村で職を見つけるのは困難である。一方で、訓練や研修を受けていない女性は、職を得られても賃金が低く、悪条件下で働いている。政府の統計によると、職業訓練学校に行った生徒は市場に見合った技術を身につけるため、大学を卒業した生徒よりも職を得る機会に恵まれている。しかし、これらは低賃金であり、厳しい労働条件の中で働いている場合が多い(Kestrel, 1998)。

4. 国際機関・その他の機関のWID/ジェンダー関連援助実績

| プロジェクト | 実施機関 | 援助機関 | 期間 | 内容 |
|---------------------------------|---|--------|----------------------------------|--|
| <ジェンダー関連> | | | | |
| Women in development | ESPOD | CIDA | From March 1997 To April 1997 | Participation of two rural Women's associations in the annual exhibition "Vague Feminine 97". |
| Women in development | National Commission of Popular Women . University Group of Feminine Studies. | CIDA | From February 1997 To March 1997 | Participation of two Women NGOs in 41st session of the United Nations Commission on the status of Women |
| Women in development | ADFM | UE | En cours | Center of legal information for Women |
| Women in development | ADFM | UE | En cours | Center of legal literacy |
| Women in development | Red Iris Computense University Madrid | UE | En cours | Meeting on Women's right |
| Women in development | Interior Ministry | FNUAP | 1997-2001 | Elaboration of multisectorial approach of national population Development of an integrate information system |
| National mobilisation Programme | Ministry of Human Right LMPE / UNICEF NGO | UNICEF | 1997-2001 | Reinforce partnership NGO government. Integration of child and Women right according to international convention ratified by the Moroccan Government |
| Women in development | Interior Ministry | UNICEF | 1997-2001 | Development of Women in rural area |
| Vulnerable girls in urban area | Ministry of Youth and Sport Ministry of Social affairs Ministry of Health | UNICEF | 1997-2001 | Promotion of girls in urban area |
| To struggle against poverty | Ministry of Population | UNDP | 1997-2001 | Struggle against poverty by durable promotion of woman and implementation of durable subsistence resources in rural area. |
| <教育> | | | | |
| Support for Education Women | NGO of Charity and Development of Ourika lake | CIDA | Still in process | Building and furnishing of a study Center for the students of l' Ourika |

| | | | | |
|--|---|------------|--|--|
| Support for the education of girls in rural areas | Ministry of Education | USAID | From 1996 To 30 March 2003 | Improvement of the conditions of education for the girls in rural areas. |
| Training for development | Ministry of Education | USAID | From August 1998 To September 1999 | Improvement of access to primary school for the girls in rural areas |
| Training for development | Ministry of Education | World Bank | | Access of girls in rural area to basic education |
| Education and consciousness to Women's right in Morocco | CIMAD | UE | En cours | Promotion and education of Women's right |
| Basic education | (Still in negotiation) | UE | (Still in negotiation) | Support for improvement of education system especially in rural area and for girls |
| Basic education | Education ministry | UNICEF | 1997-2001 | Improvement of access of girls in rural area to elementary school, and retention of girls in school |
| <保健医療> | | | | |
| Health/population project and indirectly deals with Women in development | Association Aït Baâmran | CIDA | From September 1997 To March 1998 | Providing the village of Aït Baâmran with Manual water pump (stage II) |
| Health/population project and indirectly deals with Women in development | Association Smougeun For social and Culture Development | CIDA | From September 1997 To May 1998 | Providing a well with a water pump and the building of a water-tower |
| Health/population project with Women in development | Agency for promotion and development of North | CIDA | Stage I Finished in July 1998, Stage II in process | Providing a well with manual pumps in favour of the province of Taounat and Al Housseima |
| Health/population project with Women in development | Collectif 95 Maghreb Equality | CIDA | From September 1996 to March 1998 | The participation of a Collective 95 in the 42nd session of United Nations Commission on the status of Women |
| Family Planning, Maternal and Child health | Ministry of Health | USAID | 2 July 1993 to 31 December 1999 | Reduction of fertility and improvement of mother and child health |
| Family Planning/ Nutrition | Ministry of Health | GTZ | January 1995 | Family Planning and mother nutrition Improvement of maternal and Infant Health |
| Meda Sante | Ministry of Health | UE | (Still in process) | Reduction of maternal mortality |

| | | | | |
|---|---|------------|---|--|
| PPS/ BAJ 1 | Ministry of Health | World Bank | | |
| <農林水産鉱工業> | | | | |
| Integrate Rural development | (Still in preparation) | UE | (Still in preparation) | Management of natural resources and integrate rural development, programme for a preponderant profit to Women in rural area. |
| Conservation and development of Argania Spinosa | Forest Ministry, Agadir | GTZ | From 1995 To 1998 (I stage) | Support for Women in rural area in South to create cooperative |
| <経済活動> | | | | |
| Promotion of access to Credit for Women | Foundation for Local development and partnership | CIDA | From July 1997 To March 1998 | Technical and financial assistance for holders of micro-credit |
| Promotion of access to Credit for Women | Foundation Zakoura | CIDA | From August 1996 To April 1997 | Financial assistance (micro-credit) for destitute Women in the neighbourhoods of Casablanca |
| Promotion of access to micro credit | Ministry of trade and industry and craft industry | USAID | From 19 September 1995 To 30 September 2003 | Financial assistance for impoverished people with a concentration on Women |
| Access to micro credit | (Still in preparation) | UE | (Still in preparation) | Support for access of micro credit for low income household |
| Plea in favour of Women in economic development context | Foreign Ministry NGO UNFM INSIC | FNUAP | 1997-2001 | Reinforcement of equality between two sexes and integrate development of population |

5. WID/ジェンダー情報リソース

5-1 関連機関、人材、NGOリスト

【政府機関】

| 名称 | 実績など | 連絡先 |
|---|---|--|
| Ministry of Communication | Report on evaluation of national strategy for the development of Women in public sector | TEL : 212 7 77 43 75 |
| Ministry Education | Summary of National Strategy for the Development of instruction of girls in rural area | TEL : 211 7 73.25.98 |
| State Secretary in Social Affairs, Family and Child External relations | Attribution Legal Text Structure and Historic of Ministry of Social Affairs | TEL : 212 7 67 47 66 |
| Ministry of Health Direction Of Population | Family Planing In Morocco | TEL : 002127 67 10 15 |
| Ministry of Human Rights Women Focal point | STD / HIV National Programme Improvement of Women's politic and legal conditions | TEL : 212 7 67 50 16 |
| Ministry of Agriculture Head of Centrel office for the promotion of Women in rural area | Integration of rural Women in the efforts of development in rural area | TEL : 212 77 69 24/ 25 FAX : 212 7 77 65 51 |

【NGO】

| 名称 | 実績など | 連絡先 |
|--|---|--|
| OXFAM-QUEBEC Consultant Gender & Development MAGHREB | Gender Approach for real and durable development Politic of OXFAM in Gender and Development | TEL : +07 67 50 97 FAX : +07 67 50 98 |
| The Democratic Association of Moroccan Women | National Action Plan : Reproductive Health Reinforcement of Women Power Integration of Women in economic development | TEL/ FAX 212 7 73 71 65 e-mail: adfm@mtds.com |

【調査機関】

| 名称 | 実績など | 連絡先 |
|--|--|----------------------|
| National Institute for Health Administration | Approach of mortality of mother in Morocco Maternal Mortality | TEL : 212 7 68 16 26 |

【その他】

| 名称 | 実績など | 連絡先 |
|--|---|---|
| UNDP Gender Specialist | CEDAW Convention Shadow Report CEDAW Bejing Action Plan UNDP Programme 1997-2001 | TEL : 212 7 70 35 55 |
| USAID Population Specialiste | Project Designed by USAID | TEL : 212 7 67 22 65 |
| European Commission Project Manager | Integration of Women in Development Project of UE | TEL: 2121 7 76 12 17 / 76 12 46 / 48 FAX : 212 7 76 11 56 |

【コンサルタント】

| 氏名 | 実績など | 連絡先 |
|------------|---|---|
| Consultant | Report of National Action Plan Preparation | TEL : 00 212 68 22 84 FAX : 212 7 77 76 85 |
| INF | Women and Development Promotion of Feminine Entrepreneur | TEL : 00 212 7 77 12 05 |

5-2 報告書、資料リスト

【社会/ジェンダー調査・分析】

| 文献名 | 著者 | 発行年 | 発行機関等 |
|--|--------------------------------|----------|-----------------------|
| Gender Approach for durable development | Brigitte Leduc & Hamid Mohamed | Jun 1998 | UNICEF USAID/ CRS |
| Report on evaluation of the national strategy of development of Women in public sector | Ministry of Communication | 1996 | Ministry of Education |

【女性一般】

| 文献名 | 著者 | 発行年 | 発行機関等 |
|--|----------------------|------|----------------------|
| Women and Feminine conditions in Morocco | Statistics Direction | 1992 | Statistics Direction |

【教育分野】

| 文献名 | 著者 | 発行年 | 発行機関等 |
|--|---------------------------------|---------|-----------------------|
| Project of Promotion of education and instruction of girls in rural area | UNICEF | 1996 | UNICEF |
| Situation Analysis of Women & Child in Morocco | UNICEF | 1995 | UNICEF |
| Summary of National Strategy for the development of instruction of girls in rural area | Ministry of Education | 1995 | Ministry of Education |
| Statistics of Book and materials distributions | Ministry of Education 1996-1997 | 1996-97 | Ministry of Education |

【保健医療分野】

| 文献名 | 著者 | 発行年 | 発行機関等 |
|---|--|--------------|-------------------------------------|
| Reproductive Health in Morocco National Investigation on mother & child health PAPCHILD | Ministry of Health-USAID | May 1998 | Ministry of Health- USAID |
| Panel Investigation on population & Health EPPS 1995 | Ministry of Health-USAID | January 1996 | Ministry of health-USAID |
| National Investigation On Population & Health ENPS II | Ministry of Health-USAID | August 1993 | Ministry of health-USAID |
| Family Planning National Programme Cycle 1995-2000 | Ministry of Health- | 1996 | Ministry of health |
| Institutional and legal aspects of family planning in Morocco | Ministry of Health/ USAID/ EXPERDATA | 1994 | Ministry of Health USAID/ EXPERDATA |
| Family Planning in Morocco | UNDP Ministry of Health | 1994 | UNDP/ Ministry of Health |
| Maternal Mortality | Moroccan Society of Medical Sciences / USAID | 1996 | USAID |
| Approach of Maternal Mortality and Morbidity | USAID/ UNICEF | October 1992 | USAID/ UNICEF |

| | | | |
|--|---|--------------|---|
| National Investigation On Anemia and Iodine Efficiency | National Institute of Health Administration | JUN 1995 | National Institute of Health Administration |
| National Program to struggle Against STD/ HIV | Health Ministry | January 1995 | Health Ministry |

【農林水産分野】

| 文献名 | 著者 | 発行年 | 発行機関等 |
|--|----------------------|-----------|----------------------------|
| Integration of Women in the efforts of development in rural area | MAMVA DERD | July 1997 | MAMVA-Agriculture Ministry |
| Rural Women in Morocco | Statistics Direction | 1997 | Statistics Direction |

【鉱工業分野】

| 文献名 | 著者 | 発行年 | 発行機関等 |
|-------------------------------------|----------------------|----------|---------------------|
| Promotion of Feminine Entrepreneur | A. Balenghien | Nov 1997 | UNIDI |
| Economic Status of Women in Morocco | Statistics Direction | 1990 | Statistic Direction |

【社会開発分野】

| 文献名 | 著者 | 発行年 | 発行機関等 |
|-----------------------|---------------------|----------|----------------------|
| Women and development | A. Balenghien | Nov 1997 | UNIDI |
| Women and development | Staistics Direction | 1992 | Statistics direction |

【その他】

| 文献名 | 著者 | 発行年 | 発行機関等 |
|-----------------------|---------------------|----------|----------------------|
| Women and development | A. Balenghien | Nov 1997 | UNIDI |
| Women and development | Staistics Direction | 1992 | Statistics direction |

6. 参考文献

- Association Democratique des Femmes du Maroc (ADFA), 1998,
*Parallel Report of Moroccan NGOs on the Application of the Convention of
Eliminating all Forms of Discrimination Against Women*
- The Economist Intelligence Unit(EIU), 1998
Country Profile: Morocco
- Kestrel's Advisory Corps, 1998
Country Profile Study on Women in Development
- United Nations Children's Fund (UNICEF) , 1998
The State of The World's Children 1998
- United Nations Development Programme (UNDP), 1998
Human Development Report 1998
- United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO), 1998
World Education Report , UNESCO Publishing
- Valentine M. Moghadam, 1998
Women, Work, and Economic Reform in the Middle East and North Africa,
Lynne Rienner Publishers, Colorado, USA
- World Bank, 1997
World Development Report 1997
- JICA モロッコ事務所、1998、事務所へのインタビュー
- 国際協力事業団、1994、『貧困問題ガイドブック』
- 国際協力事業団、国際協力総合研修所、1997、『開発途上国技術情報データシート』
- 国際協力推進協会、1995、『モロッコの経済社会の現状』開発途上国国別経済協力シリーズ
- 在モロッコ日本国大使館、1995、『モロッコ概況』
- < ローカルコンサルタント使用資料 >
- 記述なし

7. 用語・指標説明

<用語説明>

ジェンダー (gender)

社会的・文化的性差のこと。生物学的な性差(セックス)は、基本的には変更不可能だが、男女の役割やその相互関係を示す社会的な性差(ジェンダー)は、人々の考え方や価値観によって規定されているため、時代や地域などにより異なり、また変えていくことができる。

インフォーマル・セクター (Informal Sector)

労働統計上、雇用者のいない単独業種の経済活動の人口や家族従業者。この特徴は、単純な技術、わずかな資本、営業場所不定、最低限の被雇用者(もしくは被雇用者なし)、準適法性・登録の欠除、帳簿付けの欠如などである(ILOの定義による)。インフォーマル・セクターの労働者は、制度的・法的保護の目からもれ、不安定・低賃金労働環境に置かれることが多い。

WID (Women in Development)

女性は開発における受益者のみならず、自主的な開発の担い手であることに留意し、開発プロジェクトのあらゆる段階への女性の積極的参加の確保に配慮した開発をすすめること。

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (reproductive health / rights)

性と生殖に関する健康/権利。安全で満足な性生活を営めること、子供を産むかどうかの選択、時期、人数などを決定する自由をもつこと。

ナショナル・マシーナリー (national machinery)

男女平等を推進する国レベルの女性問題担当行政機関。女性政策の立案・実施・各省庁への男女平等な施策の実施の促進を行う。

エンパワーメント (empowerment)

個人または集団が政治・経済・社会的な力をつけていくこと。

アファーマティブ・アクション又はポジティブ・アクション (affirmative action / positive action) (積極的差別是正措置)

被差別集団が過去における差別の累積により他の集団と比べ著しく不平等な状態に置かれているような場合、格差の急速な是正のためにとられる積極的な優遇措置。

アクセスとコントロール (access / control)

アクセスは土地、労働、資金といった経済活動を行う上での資源やサービスなどを使用できること、あるいは使用する権利を有すること。コントロールは資源やサービスなどの管理について決定したり、所有したりする権利。

再生産活動

子供を生み、育てることといった「次世代を再生産」する活動と、洗濯や炊飯といった家族員が日々の生活を維持し、労働力を再生産していくための活動。

<指標説明>

インフレ率

GDP デフレーターを代用。

ジニ係数

所得分配の不平等の度合を示す係数。0と1との間の値をとり、完全に平等な場合0、完全に不平等な場合1をとる。0.4以上の場合、不平等度が高いと一般的に判断される。

女性所得比率

各国比較可能な該当データがなく、UNDPの女性所得比率では、非農業部門における男性所得の75%を女性所得として算出している。

合計特殊出生率

ある年次における再生産年令(15—49才)の女性の年令別特殊出生率の合計。一人の女性が、その年次の年令別出生率で一生の間に生む平均子供数を表す。

1才未満乳児死亡率

出生1000に対する1才未満児死亡数の比率、すなわち1年間の1才未満児死亡数÷1年間の出生数×1000。

5才未満幼児死亡率

出生1000に対する5才未満児死亡数の比率、すなわち1年間の5才未満児死亡数÷1年間の出生数×1000。

妊産婦死亡率

10万人出産に対して、妊娠関連の原因で死亡した女性の年間あたりの人数。

出産介助率

医師、看護婦、助産婦、訓練を受けた公衆衛生従事者、あるいは訓練を受けた伝統的な助産婦のもとに出産をする割合。

低体重児率

2500 グラム以下で生まれた新生児の割合。

経口補水療法(ORT)使用率

5 才未満児の下痢に対して経口補水塩または代替溶液が使用される比率。

小中学校就学率

総就学率(または粗就学率)は学齢に関係なく就学している生徒数が学齢相当人口に占める割合。

純就学率は学齢相当の就学数が学齢相当人口に占める割合。